

# 昭和学報

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂  
03(3411)5118  
編集発行人 鈴木 円

## 海と山のあいだに

副学長 吉田 昌志

人間のもつ五感(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)の中で最も喚起力の強いものは何だろうか。諸説があり、また人のおのによって違うだろうけれども、私の場合は「嗅覚」において「海」である。

このことを実感するのは、勤めを終えて電車に乗り、最寄りの駅に着いた時、今の住まいは横浜なので、ホームに降りて息をつくとき、海の潮の匂いがする。しかしいつも海の匂いばかりを感じているわけではない。私は信州諏訪の産れで、帰省して列車を降りると、今度は山の樹々の匂いに満たされるのである。

夫(一八八七—一九五三)の第一歌集の題名である。「釈道空」の別号をもつ折口は、歌人にして国文学・民俗学の研究が得意だった。学問が出来て、歌も作ることで、歌を世に「学匠詩人」と称するが、折口はその典型といつてよい。

この歌集は、明治三十七年頃から大正一四年までに発表された六九一首を、近い年から逆年順に編成したもので、当時の作者は数え三九歳。大阪天王寺中学卒業の年(明治

海、潮の匂いと山の樹々の匂い、その二つの匂いが、今ここに居る自分を否応なく認知させる。と同時に、こうした自分を意識するたびに念頭に浮かぶのは「海やまのあひだ」という言葉だ。

日本語日本文学科の皆さんはすぐに気づかれたと思うが、これは折口信夫(一八八七—一九五三)の第一歌集の題名である。「釈道空」の別号をもつ折口は、歌人にして国文学・民俗学の研究が得意だった。学問が出来て、歌も作ることで、歌を世に「学匠詩人」と称するが、折口はその典型といつてよい。



改造社版  
『海やまのあひだ』  
大正14・5  
本学図書館近代文庫蔵



- 今月の昭和学報は
- Asian Women's Leadership Program  
日中韓プログラムに参加して……………(2)
  - クラブサークル活動報告……………(3)
  - 日文ノルド絵莉華ナターシャさん  
第三六回昭和池田賞で優秀賞……………(4)

て、これを「心なく山道を行きし人あらむふみしだかれぬ白き葛花」と添削したことによって、一層有名になった。

というのは、この添削が「あたらし」を「新らし」ではなく「愛惜し」に誤解して「心なく」と変えたこと、また紅紫の葛の花の色を「白き花」とした無知によって、失笑を買ったためである。

その歌が歌集中の代表作となったのは、地面に踏みしだかれた葛の花の鮮やかな紫を発見して、山の中に深く分け入った自分の前を行く、誰か知らない者の存在に思い至り、心のつながりを見出した作者の心の動き(感動)であり、その心情とは孤独に徹した旅人のものであったからにはかならない。「行きし人」は、見知らぬ誰かであるとともに、同じ孤独を抱く作者の分身でもある。

この歌の典拠に、芭蕉の「此道や行人もなしに秋の暮」(「笈日記」一六九五)を指摘する説もあるが、行く人(旅人)の「あり」「なし」にかかわらず、「道」は人生の道程を象徴し、孤独な

心を持ちつつ旅を続けなければならぬ人間の宿命の自覚があることに変わりはない。

### 平成二八年度就職率 七年連続女子大学でトップ

平成二八年度(平成二九年三月卒と同二八年九月卒の合計)の本学の学部就職率(卒業生から大学院進学率を除く)は95.5%で、昨年の94.3%を1.2ポイント上回り、卒業生が1000人以上の女子大では七年連続でトップとなった。また、共学校を含めた全国順位では八位で、昨年の一二位から四ランク上がり、一昨年の九位を上回った。理工系や福祉系を除く文系中心の大学ではトップの実績を維持した。

この調査は例年、大学通信が実施し、七月下旬発行の『サンデー毎日』に掲載される。本学は卒業生1402人に対し、就職者が1315人、大学院進学者が25人で、この結果、就職率は平成二三年度の86.7%、同二四年度の90.2%、同二五年度の91.2%、同二六年度の93.9%、同二七年度の94.3%に続き、着実に数字を積み上げて女子大トップの記録を伸ばした。

### 日本航空株式会社との 包括的連携に関する基本協定締結



六月三〇日、本学と日本航空株式会社は、包括的な連携に関する基本協定を締結した。

これまでも同社とは、ビジネスデザイン学科給善品子ゼミでの活動をはじめ、昭和ボストンでの地域交流活動や、学生の就職先としても昨年は六名の学生が社会人としての一歩を踏み出すなどのつながりがあった。協定締結により、絆を一層深めることが期待される。

坂東眞理子理事長・総長は、「平成二四年に同社がボストン直行便を就航して以来、様々な面でお世話になってきた。グローバル人材育成推進や女性の社会的活躍という点からも、本協定が締結されたことは非常に嬉しい。様々な機会に学生とともに社会に資する活動をしていきたい」と挨拶。

大川順子代表取締役専務執行役員からは、「全社をあげてグローバル人材育成教育を支援したい。ボストンをはじめ、地域とともに素晴らしいことが成し遂げられればと思う。末永くお付き合いを」とのお話があり、和やかなうちに調印式は終了した。

# Asian Women's Leadership Program

## 日中韓プログラムに参加して

本学と、韓国の誠信女子大学、中国の上海外国語大学から選出された女子学生各一〇名が三週間「日中韓プログラム」に参加した。今年第一回となる同プログラムは、八月四日から二四日までの期間、三カ国で一週間ずつ過ご



しながら、東アジアの国際関係や女性のリーダーシップ

プについて学び、互いの国への理解を深める内容となっている。各大学で特別授業が行われたほか、フィールドトリップや、グループディスカッション、各大学のプログラム修了時にはプレゼンテーションも行った。参加学生は生活を共にし学ぶことで、それぞれのお

国柄にも触れることができ、より理解を深めることができた。私は国際学科の上海交通

大学ダブル・ディグリープログラムの留学で培った中国と韓国についての知識や語学力を活かすため参加した。プログラムで行われる授業は全て英語で、英語の堪能な友人に助けられることも多かつたが、私の韓国語や中国語が交流を助けることもあり、嬉しかった。たとえば、儒教に関する講義は難解な部分があり、私が上海交通大学で学んだ知識をみんなと共有して儒教についての理解を深めた。

各国の文化を体験する時間には、韓国では韓服

を着ての茶道体験とビビンバ作り、中国では伝統茶のほか伝統楽器の演奏を、日本では浴衣姿で落語を楽しんだ。茶道をはじめ、似ていながらも少しずつ違う文化に、各国の独自に発展させてきた歴史を肌で感じた。三週を終えて、学生それぞれの成長を嬉しく思う。参加した三カ国の言葉を話せたことで、日中韓それぞれの未来を変えたいという意識も芽生えた。多くの国の人々に影響を与えられる人になりたいとの決意も新たに

なつた。これを機に、東アジアに関心を持つ学生が増えれば良いと思う。

健康デザイン学科二年生は東明学林にて学寮研修を行った。初日に日本ケンタッキーフライドチキン(株)(以下KFCJ)の本社見学、二日目は新江ノ島水族館見学と、その周辺で女子大生に向けた健康向上プログラムを考察し、グループごとに体験した。三日目は労作として植樹や野菜の収穫後、前記プログラムのプレゼンテーションを行った。



オリジナルサイバー・チキンマスター(中央とニッコリ)

## 平成二九年度 学寮報告

後、新商品の入ったランチが無償提供され、皆で美味しく頂戴した。

私は学寮クラス委員長として、先生方と関わる機会が多く、そのため膨大な時間を要し研修準備がなされていること、東明学林の方々が温かなサポートをして下さっていることを知り、改めて感謝した。また、友人との新たな交流も生まれ、今後の学生生活に活かしたい。(健康 佐久間美季)

## ◆福祉 6/27/30

私たち福祉社会学科は六月二七日から三〇日まで館山にある望秀海浜学寮にて四日間の学寮研修を行った。

今回の学寮研修のプログラムでは、二日目にゼミごとに様々な分野のフィールドワーク先を訪ね、三日目に三年生を中心にその学びを共有するための報告会を行った。写真は私が伺ったデイサービスの施設で、利用者の方々と七月のカレンダーを作成する様子である。短冊に願い事を書き、織姫や彦星、星などの折り紙と一緒にカレンダーに貼り、飾り付けをした。職員の方が利用者の方とどのようにコミュニケーションをとっている



## 先生の研究室訪問

### 積極的に経験しよう

健康デザイン学科専任講師 不破眞佐子 先生

今回は、健康デザイン学科の不破眞佐子先生をお訪ねした。「人は食べたものによつ

て作られており、健康をサポートする仕事として栄養士を目指した」と不破先生。先生は、本学附属中高部のご出身で、高校三年生の時には、五修生として短期大学部食物科学科(当時)で学びはじめ、生活科学科へ編入、その後、大学院に進学された。大学院博士課程では、食物繊維が血糖値上昇の抑制に及ぼす影響をテーマに研究され、食物繊維の種類による血糖値上昇の抑制について研究された。食物繊維に

は、血糖値上昇を緩やかにする働きがある。急激な血糖値の上昇を避けなければならぬ糖尿病患者の方に応用するための研究でもある。現在は、災害時に身の回りにあるものを活用して十分な食事をとるための研究もなされている。不破先生の様々な研究の根底には、「いつまでも口から美味しく食べる」という変わらないテーマがある。

糖尿病は、生活習慣病の一つであるが、その予防については、一旦定着してしまつた生活習慣の改善は難しいため、子供の頃から良い生活習慣を身につけることが大事である。そのため、不破先

生は、教育についてもとても大切に考えられており、先生ご自身も学生時代に行った病院での給食のアルバイトからは、多くのことを学ばれたそう。そして、本学の魅力でもあるグローバルな環境を活用したり、メンター制度や様々なプロジェクト活動に参加するなど、授業以外の学びについても主体的に参加してほしいと続けられた。大学の四年間でしか経験することができないことに積極的に取り組むことで、新しい発見ができる。不破先生。私達も、学生時代を大切にしたい。様々な挑戦を楽しみたい。(学報委員 片桐穂乃花、佐久間美季)

のかを知ることができ、大変勉強になった。職員の方は、利用者の方に声をかける際、そのトーンや態度に注意を払い、利用者の方が快適に過ごすことができるようされていた。その対応は、利用者の方の特性や特性をきちんと把握した上で、一人ひとりに寄り添った支援となっていた。そして職員の方からの支援や働きかけだけではなく、利用者同士の関係性を築くための関わり方をすることも重要だと感じた。また、地域との連携や地域におけるデイサービスの役割など、多くのことを学ぶことができた。

報告会では、各ゼミがどのような活動をし、何を学んだのか、詳しく知ることができ、有意義な時間となった。さらに全員参加でキャンペーンやレクリエーションも行われて、学年を越えて絆を深めることができた。(学報委員 赤澤美香、津志田千愛)

の



(学報委員 赤澤美香、津志田千愛)

### SWU Summer International Program 2017に参加した

六月一九日〜七月一〇日の三週間、今年もSSIPが実施され、七カ国から一四名の留学生が参加した。

このプログラムでは、Japan StudiesとCCW (Cross Cultural Workshop)が開講され、参加する学生・留学生は英語で異文化理解を深める。Japan Studiesでは日本の歴史や教育等について学ぶほか、浅草観光や歌舞伎鑑賞、茶道体験等、日本文化を体験する内容となった。



最終週の東明学林での合宿では、寝食を共にしながら発表の準備を進めたが、鎌倉観光や花火等のレクリエーションもあり、留学生と交流を深めることができた。

SSIPは、実践的に英語を使うよい機会であり、様々な課題を乗り越えたことは今後の自信につながる。多くの学生の参加を希望する。

(学報委員 柿田知笑)

### クラブ・サークル活動報告

**合気道部** 4/29関東学生合気道新人競技大会出場、10月全国大会出場予定、12月昇級・昇段審査予定 (部長 林祐希)

**競技ダンス部** 東京六大学戦チャチャチャ/サンバ第4位渡辺貫太(明治)・高橋亜希組、前期新人戦タンゴシニアアップ森谷峻吾(明治)・吉川紗彩組、前期新人戦パソドブレシニアアップ清水正明(明治)・野上菜々美組、春東部戦団体第4位、春東部戦チャチャチャ第3位渡辺貫太(明治)・高橋亜希組、東部ジュニア戦団体第4位、東部ジュニア戦タンゴ第4位森谷峻吾(明治)・伊東滯組

**剣道部** (部長 吉川紗彩) 体育館で月・金練習、4/3中高校練習試合、5/28東京学連剣友連合会参加

**硬式テニス部** (部長 横田萌) 水・土に練習。4月関東学生テニストーナメント参加、8月関東大学テニスリーグ参加 (部長 巖櫻桃子)

**昭和女子大学クリケットクラブ** 関東学生クリケット選手権出場、関東学生クリケット新人戦出場、全日本学生クリケット選手権出場 (部長 周防愛理)

**ダンス部AUBE** 4月新歓フェスタ参加、プロムナードエコーにて新歓、5月Luxury Soul

### チェンライ風の学校・ボランティアアワーワークキャンプに参加して

ボランティアアワーワークキャンプでは、タイ北部のチェンライで、山岳少数民族における人権や人身売買、麻薬乱用等の現状について、ボランティア活動を通じて学んだ。

八月一七日から二三日の活動で、心に残ったのは少数民族アカ族のアクティビティで、七月神奈川大山登山(部長 志賀春花) 愛宕流煎茶道サークル (部長 服部莉子) バスケ部 (部長 杉山遥香) 3回練習、9月リーグ戦出場 (部長 高梨未規)

**ファイギュアスケート部** 週一回シズンアイススケートリンクで練習、8/7〜10北九州オープンフィギュアスケート競技会参加、夏季フィギュアスケート競技会・10月以降多数の試合に参加予定 (部長 近佳那子)

**フットサルサークルFCsida** 土曜日13時30分から体育館で練習。初心者が多く、初歩から皆で活動中 (部長 和田明莉)

**ワンダーフォーゲル部** 5月新歓登山後一・二年



パー村でのホームステイである。私達がアカ語で話せるのは簡単な挨拶のみで少し緊張したが、結果的には何の心配もいかなかった。互いに身振りや気持ちで伝え、言葉の壁を越えた繋がりがあることを身をもって感じた。

アパー村では、水しか

出ないシャワーや、あたり前に起きる停電、鶏の声で起き、暗くなれば寝る。そんな生活であった。必要最低限のものしかなくて、村人は皆温かく、全員が家族のようだった。日本での便利でモノに囲まれた暮らしとは違う豊かさを感じた。

学生時代の今しかできないと考えるワークキャンプに参加した。これまでの生活と、現地の小学校でのボランティア活動やアヘン博物館や世界最大の麻薬栽培地帯であったゴールデン・トライアングルの見学など、様々なことを学び考えることの多い一週間となった。

(福祉 渡邊優奈)

### 文化講座 「食糧を届けるー貧困、災害、紛争の中で」

忍足謙朗氏は、国連世界食糧計画(WFP=World Food Programme)アジア地域局長として活躍された。WFPは、世界の食糧安全保障を担当する国連機関で、飢餓のない世界を目指し世界各地で活動している。現在約八億人が貧困や災害等で十分な栄養を摂れず「静かな緊急事態」といわれている。特に赤ん坊が二歳になるまでの栄養不足は、その子の一生にかかわる発育障害を引き起こす。WFPでは、主食や、タンパク源となる豆類、油、塩、砂糖、缶詰等、一人当り一日二一〇〇カロリーの食糧提供

忍足さんは、「日本では飢饉や内戦等の報道が少ないが、世界で起きていることに興味をもってほしい。文化が異なっても立場は平等で、全ての人には十分な食料を得て健康に過ごす権利がある。遠く離れた地でも厳しい状況を知り、思いやりをもつことはグローバル化にとって大切なことだ」と話された。

講演をきっかけに世界の現状をさらに自分から調べていきたいと思う。

(学報委員 加藤すみれ)

生が入部、七月神奈川大山登山(部長 志賀春花) 愛宕流煎茶道サークル (部長 杉山遥香) 秋桜祭に向け、基本の五客煎だけでなく十客煎も稽古中、着物の着付けにも挑戦(部長 杉山遥香)

**Encore** 4月目黒イーストエリア桜まつり・三軒茶屋まち道楽、5月豪徳寺たまにゃん祭り、8月学内定期公演・三茶水かけ祭り・あい・あいロードフェスティバル、9月ふれあい三茶祭り・三茶よいしよ祭り各イベントにボランティアとして参加・ステージ出演

**E.S.S.** 新入生25名と活動、6月共立女子他4大学で桜デイスカッション開催、BST学生

**交流** (部長 飯塚渚) 生田流箏曲部 4/24新歓演奏会、5/29ミニ演奏会、6/20SSCオーピングセレモニー演奏、6月水曜留学生に演奏体験(部長 三輪可那子)

**裏千家茶道部** 部員28名が金曜日に集会所で活動、4月炉、5月以降は風炉のお稽古、4/25日本事情の授業、6/18子育てフェスタ百名程のお客様、6/21SSC留学生茶道体験、7/7先生方、部員の願いを込めた短冊を笹に飾った

**エンパワメントせたがや** (部長 松下ゆりこ) 4/3〜7新入生・新三年生歓迎活動、5/12世田谷区との連携国際化プロジェクト企画会議、5/14留学

生との交流会(横浜観光) (部長 岩本起季乃) **グローバルミュージッククラブ** 秋桜祭のステージ発表で、顧問と演奏や歌を披露。観客に楽しんで頂ける演奏を目指し練習中

**国際貢献クラブ** (部長 佐藤百華) 4月スポーツ交流会・協力隊まつり、5月浅草巡り、6月あじさい鑑賞、7月部内交流会

**写真同好会** 週一回ミーティング、7月リス園にて撮影会(部長 新貝瑞季)

**手話サークル手話の輪** 手話コーラスの練習と、手話検定に向け勉強中

**昭和創作サークル** (部長 岡田美由紀) 4〜5月作品作り・新入生歓迎

会、6月秋桜祭テーマ決定、7月秋桜祭作品制作

**書道部** 新歓フェスタでパフォーマンス、秋桜祭展示作品の制作と、野外特設ステージでのパフォーマンス準備

**Sing Song Society** (部長 加藤愛望) 4月新歓フェスタ・アカペラライブ、9月ふれあい三茶まつり参加、新入部員15名と共に毎水曜練習

**吹奏楽部** (部長 伍井結衣子) 現在38名で活動、4月新歓コンサート、6月子育てフェスタ演奏、東京都市大学横浜祭にて、同大と合同演奏、11月秋桜祭での演奏、12/25定期演奏会開催予定 (部長 滝島由依)

**文芸部** 秋桜祭に向けての部誌作成と各作品の批評、リレー小説の作成

**放送研究会** (部長 清水智葉) 月々木学内の昼の放送を担当、4月新歓フェスタ司会とステージ発表、PV上映、5月春の番組発表会開催、前期世田谷大学放送連盟モニター会参加 (部長 西山千尋)

**マンドリン・ギタークラブ** 毎週水曜日、主に7号館で活動、秋桜祭コンサートや定期演奏会に向け練習中。夏期合宿開催

**礼法・着付けサークル葵** 後期のコンテスト・秋桜祭に向け練習、留学生の日本文化体験と交流を兼ね浴衣着付け体験を実施 (部長 大重友香)

### 日文 ノルド絵莉華ナターシャさん 第三六回 昭和池田賞で優秀賞

広く学生からの論文を募集した第三六回昭和池田賞の優秀賞と特別奨励賞が選出され、応募総数四二編の中から私は優秀賞を頂くことができた。同賞は、七つのテーマから一つを選択し、原稿用



公益財団法人 昭和池田記念財団 理事長 池田彰孝氏とノルドさん

紙三〇枚以内で論文を執筆するもの。私は「日本の伝統文化を考える」というテーマで、「日本の伝統芸能及び伝統文化の保持に対する提言」と題し、伝統的な芸能や工芸における労働問題や継承者問題に着目し、新しいターゲットや販売展開の提言を行った。

七月一三日には受賞者が昭和池田記念会館に集まり、表彰式が行われた。式典では、講評や祝辞を頂き、挨拶を行った後、優秀賞と副賞二〇万円、奨学金目録を頂いた。

(日文) ノルド 絵莉華ナターシャ

### 職員に聴く！ 創立者記念講堂

創立者記念講堂は、昭和五五年、創立六〇周年を記念し建設された。学報委員会では、日ごろは見ることでできない講堂のバックステージを武藤空男講堂部長にご案内頂いた。見学当日は、外部

まず驚いたのは、この大きな講堂を六名のスタッフが管理していることだ。スタッフは、音響照明、舞台、施設等に分別、専門知識を駆使し、講堂運営に貢献している。まさに縁の下の力持ちと

のオーケストラのハーサルが行われていた。

講堂は、地下二階地上五階建てで、収容人数は一階一四七六六、二階五三二人である。私達が文化講座で使用する階のほかに、貴賓室や照明・音響をコントロールする部屋が並ぶ階がある。舞台正面の貴賓室は、ゆったりとした空間に椅子が置かれていた。

隣接する二部屋は、たくさんのスイッチ類が並ぶコントロールルームとなつている。創立記念式の「オーロラの躍動」の照明操作もこ

の部屋で行われている。うだ。その他、出演者控え室も複数あり、一室にはグランドピアノがおかれていた。

次にリハーサル中の舞台裏を見せて頂いた。可動式の反響板の後ろにはこれまでの公演のチラシが貼られており、講堂の歴史が「見える」ようになっていく。これを見て、自分のチラシを貼る出演者もいるようだ。

最後に見せて頂いたピアノ室には、スタインウェイ及びベーゼンドルファーのフルコンサートグランド三台の素晴らしいピアノが置かれていた。一度は耳にしたことがあ

る憧れのピアノだ。講堂の一般利用者は、年間二〇万人以上にもなるが、講堂貸し出しの最大の目的は、本学をより多くの人に知ってもらうことにある。そのため、条件を満たす団体にのみ貸し出しを行っている。三年後の創立百周年に向け、改装工事も計画されており、利用者や学生により充実した環境が提供されるようになる。開設三七年を経ても、なお進化する講堂の今後が楽しみになった。そして、講堂を利用する我々は、管理している方のためゆめぬ努力を忘れてはならない。



貴賓室  
コントロールルーム  
反響板

照明操作もこの部屋で行われている。うだ。その他、出演者控え室も複数あり、一室にはグランドピアノがおかれていた。

次にリハーサル中の舞台裏を見せて頂いた。可動式の反響板の後ろにはこれまでの公演のチラシが貼られており、講堂の歴史が「見える」ようになっていく。これを見て、自分のチラシを貼る出演者もいるようだ。

最後に見せて頂いたピアノ室には、スタインウェイ及びベーゼンドルファーのフルコンサートグランド三台の素晴らしいピアノが置かれていた。一度は耳にしたことがあ

る憧れのピアノだ。講堂の一般利用者は、年間二〇万人以上にもなるが、講堂貸し出しの最大の目的は、本学をより多くの人に知ってもらうことにある。そのため、条件を満たす団体にのみ貸し出しを行っている。三年後の創立百周年に向け、改装工事も計画されており、利用者や学生により充実した環境が提供されるようになる。開設三七年を経ても、なお進化する講堂の今後が楽しみになった。そして、講堂を利用する我々は、管理している方のためゆめぬ努力を忘れてはならない。

(学報委員 斎藤優実・白敷環奈・渡邊まりや)

### 文部科学省 官民協働海外留学支援制度 「トビタテ」留学JAPAN日本代表プログラム第七期生に ビジネス 小澤千耀さんが採用

この留学では、日本がアジア諸国と友好で有益な関係を結び、双方が利益を得られる社会の実現に向けフィリピンで三ヵ月間様々な挑戦をする。



チヨコレット社社マネージングディレクターとも(左)小澤千耀さん

具体的には、企業の現場からシステムや相互関係の定着について考察し、NGO職員との共同生活を通じ、多様な問題や教

「トビタテ」の合宿で専門性の異なる学生と語り合えたことは、今後の自己成長に繋がるだろう。このような仲間に出会えるのもこの留学の魅力の一つだ。将来、海外の大学院で学ぶ目標もあり、社会人としてのステップを踏み出す前の最後の留学で成果をあげたい。

(ビジネス) 小澤千耀

### 美術館・博物館に出かけよう！ 「伊勢半本店 紅ミュージアム」

七月九日、学報委員は表参道の「伊勢半本店 紅ミュージアム」を訪ね、本学の卒業生でアテンドメント兼広報の阿部恵美子さんにお話を伺った。



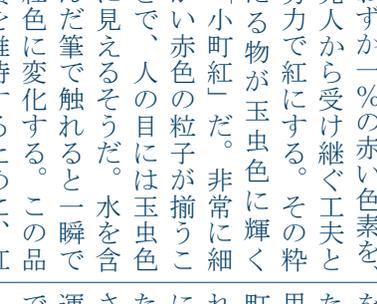
館内には、製法からお江戸の化粧ポーチまで、魅力的な展示が詰まっています。小町紅体験では、発色の違いを実感

業当時と変わらぬ秘伝の伝統製法を守り続けている。ミュージアムは、紅の文化と技を伝えると共に、今に通じる紅の魅力を知ってほしいとの思いから設立され、最近SNSがきっかけで若者の来館者も増えているそうだ。展示室には、紅にま



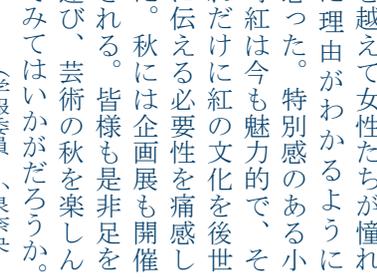
小町紅体験では、発色の違いを実感

つわる歴史的資料が様々な角度から紹介され、紅やそれにまつわる文化の一端を知ることができた。紅の原料には赤を多く含む品種「最上紅花」を使用し、館内には生花が飾られていた。アザミに似た黄色い花弁と、鋭い棘をもつ紅花から抽出される色素の多くは黄色で、わずか一%の赤い色素を、先人から受け継ぐ工夫と努力で紅にする。その粹



小町紅体験では、発色の違いを実感

たる物が玉虫色に輝く「小町紅」だ。非常に細かい赤色の粒子が揃うことで、人の目には玉虫色に見えるそうだ。水を含んだ筆で触れると一瞬で紅色に変化する。この品質を維持するために、職人は今も変わらず一つ



(学報委員 小泉奈央・室永夏奈・白井杏奈・峯尾陽香)

## 行事予定

- 10月 2日(月) 後期授業開始、大学院修士論文題目提出 (~6日)  
図書館「ツアー(~6日)、情報検索ガイダンス(~11/30)、ゼミガイダンス(~12/22)」
- 10月 4日(水) 第3回学友会クラス学生総会(15:30)  
図書館「長期貸出最終返却日、第3回図書館貴重資料展「女性文庫(西洋の女性史) (~11/29)」
- 10月 5日(木) 先哲の慰霊祭(10:40)
- 10月 8日(日) 大学A0入学試験一次選考、編・転・学士入学試験
- 10月 9日(月) 編・転・学士入学試験 (健康のみ)
- 10月10日(火) 月曜代替日
- 10月11日(水) 合同避難訓練(11:45)雨天時は18日へ延期  
第2回就職ガイダンス(15:30)
- 10月15日(日) 大学A0入学試験二次選考
- 10月18日(水) 【女教】日比谷武氏「これからの企業経営と求める人材」(15:30)
- 10月20日(金) 学内合同企業説明会(12:30)
- 10月21日(土) 第3回全学対象TOEIC IPテスト(3・4限)
- 10月23日(月) 第85回メンターフェア(12:00)
- 10月25日(水) 【博士後期課程3月修了見込み者】課程博士学位論文提出期間(~31日16:00)
- 10月26日(木) 【文研】歌舞伎鑑賞会(18:15)
- 10月28日(土) 第5回オープンキャンパス(13:00)  
第52回メンターカフェ「気になる観光業について聞こう」(13:30)
- 10月30日(月) 【文研】ブラック・ダイク・バンド(18:15)
- 10月31日(火) 大学院早期修了申請提出締切  
【文研】コルネリア・ヘルマン&NHK交響楽団メンバーによる名曲(18:15)